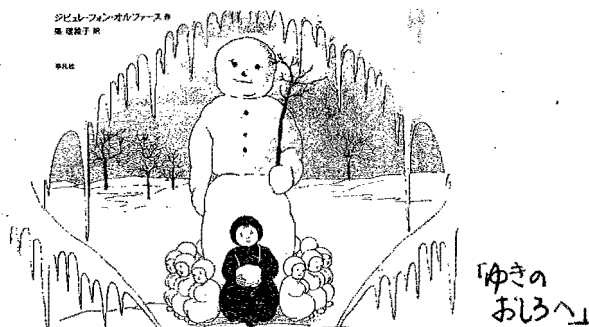


2月の園便り

23年 新潟青陵幼稚園 加藤由美子



赤ばらさん(3歳児)が、バケツに水を入れて、そこへ砂を入れてかき混ぜていました。ひたすらかき混ぜてじ〜っとバケツの中をみていた赤ばらさん——そのそばにいた実習の学生さんが「お米みたいですね」といいました。すると赤ばらさんは「はい、おこめですね〜」と言いました。この様子を見ていて・・・大人はどうしても“形あるもの”を求めがちであることを思いました。“形あるもの”“目的を作り出したくなる”とでもいいでしょうか、・・・赤ばらさんが何を思っバケツの中をかき混ぜ、何を思っじ〜っと見ていたのか、赤ばらさんの思いをそのままそっとしてあげたいと思うのです。赤ばらさんは「お米みたいですね」と言われ、その言葉に、お米をイメージして「はい、おこめですね〜」と言ったのではないかと・・・推測ですが・・・思いました。ひょっとすると、大人が考えるよりはるかに豊かな世界に遊んでいたのに、現実的な世界に戻ってしまったのかもしれません。赤ばらさん、白ばらさんは、まだまだ自由な想像の世界に遊ぶことができますから、ひたすらその素材と遊び(目的なく遊び始め)遊びこんで、次第に目的が出てくるという姿が多いのです。具体的な遊び、形ある遊びにしてあげたいという大人の思いはちょっと我慢して、子どもが何を思い、どんな世界を描いているのかを、見守ってあげたいのです。子どもの内面に確かに培われているものを尊重して、子どもからの発信を待っていたいと思います。一方、青ばらさん(年長)の遊びは現実的になってきていますから、目的をもって素材に取り組みます。これまでにたくさんの素材と遊んできた青ばらさんは、〇〇を作りたい、それにはあれを使ってみよう、こういうものがいいと考えると素材を選択し、道具を使いこなし、遊びを作り出していきます。男の子たちがねずみを捕まえて飼いたいと、ねずみの家を作り、どんなものを食べるのか調べ、ねずみ捕獲作戦を考えています。捕まえるために置いていたお菓子が食べられてしまったときには、いつどんなふうになねずみが来たのか見たいから監視カメラを買って欲しいと仰っていました！(今どきですね〜!)担任に、夜11時に待ち合わせをして様子を見ようと手紙を渡してみたり・・・子どもたちは自分の思いや考えを友だちに伝え合って、協力して一生懸命考えて遊びを進めています。こんなに一生懸命になって、充実した日々を送ることができる子どもたち、その基礎には、大切な友だちとの関係が安定していることが必要になります。これまでの遊びを中心とした幼稚園生活を通して、子どもどうし大好きという関係が築かれ、お互いを尊重しあう関係が育まれてきました。あとふた月、充実した日々となりますように！

23年 2月の園便り

日	曜	給食	降園時間	行	事
1	火	○	2:00		
2	水	×	11:30	誕生会です。2月生まれさんの保護者の方、ご一緒にお祝いしましょう。	
3	木	○	2:00	節分 豆まきをして邪気を祓います。	
4	金	○	2:00		
5	土	/	/	大学の入試のためお休みです。	
6	日	/	/		
7	月	○	2:00		
8	火	○	2:00		
9	水	○	2:00	青ばらさんと園長のお話の会 (父母の会主催)	
10	木	○	2:00		
11	金	/	/	建国記念日	
12	土	/	/	第2土曜日	
13	日	/	/		
14	月	○	2:00		
15	火	○	2:00		
16	水	○	2:00	白ばらさん、赤ばらさんと園長のお話の会 (父母の会主催)	
17	木	○	2:00	他のクラスの劇を見る会	
18	金	○	2:00		
19	土	×	11:30	各1組のばら劇場を行います。皆様お揃いでお出でください。	
20	日	/	/		
21	月	○	2:00		
22	火	○	2:00		
23	水	○	2:00		
24	木	○	2:00	他のクラスの劇を見る会	
25	金	○	2:00		
26	土	×	11:30	各2組のばら劇場を行います。皆様お揃いでお出でください。	
27	日	/	/		
28	月	○	2:00		